

社会資本総合整備計画(第3回変更)

熱海中央地区都市再生整備計画(第3回変更)

平成 25 年 3 月 29 日

静岡県熱海市

都市再生整備計画

あ た み ち ゆ う お う
熱海中央地区(第3回変更)

し ず お か 静岡県 あ た み し 熱海市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	熱海市	地区名	熱海中央地区	面積	154 ha
-------	-----	------	-----	-----	--------	----	--------

計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標 ・国際観光温泉文化都市「熱海」としての魅力を一層高めるため、地区内に点在する拠点施設を結ぶ空間を統一的に整備することにより、「歩いてみたくなる都市空間」の創出を図り、街中における賑わいの再生を図る。 ・中心市街地と地域の文化・観光施設をつなぐ街路等を整備し、市内回遊環境を充実させることで、来訪者の利便性向上を目指す。 ・地区内の空間を統一的に整備し、安全面だけではなく、景観上においても、楽しく回遊できる環境整備を行う。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 その昔海底から熱湯が湧き出したところから、「熱海」という名がついたという本市は、四代將軍徳川家綱の頃から、「御汲湯」として、温泉を江戸城へ献上したという歴史を持ち、温泉を背景に文化が培われてきたまちである。温暖な気候、緑の山々や青い海に囲まれたやわらかな自然環境に恵まれていることや、明治時代以降の交通の発達により、熱海は、多くの観光客に愛される全国でも有数の観光都市として発展してきた。なかでも熱海中央地区は、国際観光温泉文化都市「熱海」の中心として、様々な都市機能及び観光施設が集積している地区である。しかしながら、近年における経済の低迷や観光地競争の激化、観光客のニーズ変化などにより、熱海を訪れる宿泊観光客の減少は本地区でも大きく、ホテル・旅館・寮・保養所の休廃業や商店の閉鎖が進んでいる。 全国都市再生モデル調査を実施した中央渚北地区においては、平成7年に住民による「渚のまちなみを考える会」が発足し、長い時間をかけて議論を重ねられ、賑わいの創出に向けて様々な計画が作られており、道路修景等の声もあがっている。 また、平成16年度からの第1期まちづくり交付金において整備してきた拠点施設においては、来訪者の増加等十分な成果が現れている。 この成果を地区内全域に反映させるためにも、地区内の拠点施設をつなぐ空間を統一的に整備し、安全面だけではなく、景観上においても「歩いてみたくなる都市空間」を創出し、街中における賑わいの再生を図ることが必要であると考え、目標を設定した。

課題 本来熱海を持つ魅力と活力及び賑わいを再生するためには、「歩いて楽しいまちづくり」を進めることが重要である。そのためにも、拠点施設の整備だけではなく、地区内に点在する拠点施設を結ぶ空間を統一的に整備し、地区を1つの「面」として結び、市民及び来訪者等が「歩いてみたくなる都市空間」を創出し、街中における賑わいの再生を図ることが課題である。
--

将来ビジョン(中長期) <第三次熱海市総合計画> 市内に点在する文化的に価値の高い有形・無形の資源の新たな観光の活用、坂道や遊歩道に温泉情緒が感じられる雰囲気づくり、海を楽しめる親水空間の整備等、訪れた人々の心に潤いを与えられる「歩いてみたくなる都市空間」の創造につとめる。これにより、熱海が、団体旅行に象徴される温泉場、あるいは男性中心の観光地といったイメージから、女性や家族、小グループ等がそれぞれの好みにあった楽しみ方ができ、何度訪れても楽しい、いつかは住んでみたい個性的な保養地として、新たに生まれ変わることを目指す。 <熱海市都市計画マスタープラン> 重点施策に、観光の活性化・中心市街地の活性化を掲げ、地域資源のネットワーク化と歩行者環境・沿道環境の整備を図るとしている。本地区に含まれる渚地区、熱海港周辺や市役所周辺は、市民サービスや観光の拠点となるべき、都市拠点に位置づけている。 また、都市拠点内や観光施設や文化施設を結ぶ道路などはデザインや色彩の統一などを図り、歩いて楽しい道路としての環境整備を図ることを、歩行者空間の整備方針としている。 <観光基本計画> 熱海観光の原点である「温泉」にもう一度光をあてながら、時代と社会のニーズの変化に合わせ、長期滞在が楽しめ、何度来ても新しい発見と癒しを体験できる、市民そして観光客にとって満足度の高い心と体を回復させる「現代の湯治場」という世界に開かれた長期滞在型世界の保養地を目指すもの。 実現のための4つの柱 ①温泉中心主義 ②もう一度行きたくなる街 ③歩いて楽しい温泉保養地 ④全員参加のまちおこし
--

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値		
			従前値	基準年度	目標年度		
景観・利便性満足度	%	アンケートによる住民の満足度調査を実施する。	道路修景整備を行うことにより、住民に愛される道を創出し、賑わいの再生を図る。	23	H20年度	41	H25年度
糸川遊歩道等歩行者通行量	人/3H	糸川遊歩道の歩行者数を調査し、歩行者数を算出する。	遊歩道等の修景整備を行うことにより、「歩いてみたくなる都市空間」及び「楽しく回遊できる環境」の創出を図る。	383	H20年度	437	H25年度
湯～遊～バス乗降客数	人/年	湯～遊～バスの乗降客数を実数で算出する。	街路整備等により市内回遊環境を充実させることで、来訪者の利便性向上を目指す。	41,362	H19年度	44,000	H25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>市民や観光客が安全に快適に歩ける環境整備及び歩いてみたいとなる都市空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地と地域の文化・観光施設をつなぐ街路等を整備し、市内回遊環境を充実させることで、来訪者の利便性向上を目指す。 地区内の空間を统一的に整備し、安全面だけでなく、景観上においても、楽しく回遊できる環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 糸川遊歩道修景工事(高質空間形成施設) 熱海駅伊豆山神社線道路改良工事(道路)
<p>年間を通しての街中における賑わいの再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 「花を活かして、歩いて楽しいまちづくり」事業を進め、花のまちを演出し、年間を通して観光客の増加を図り、市内の活性化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 花のまちづくり推進事業(地域創造支援事業) 糸川遊歩道修景工事(高質空間形成施設)
<ul style="list-style-type: none"> 	
<p>その他</p> <p>【まちづくりの目標と指標の関連について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歩いて楽しいまちづくり」を進め、街中における賑わいの再生を目指していることから、歩行者数及び満足度を主たる目標としている。 <p>【事業間調整等の問題処理のための体制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内の横断的な事業であるため、事業間調整及び市民へ周知については、現在の調整(窓口)担当課が対応予定。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	252.7	交付限度額	101.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

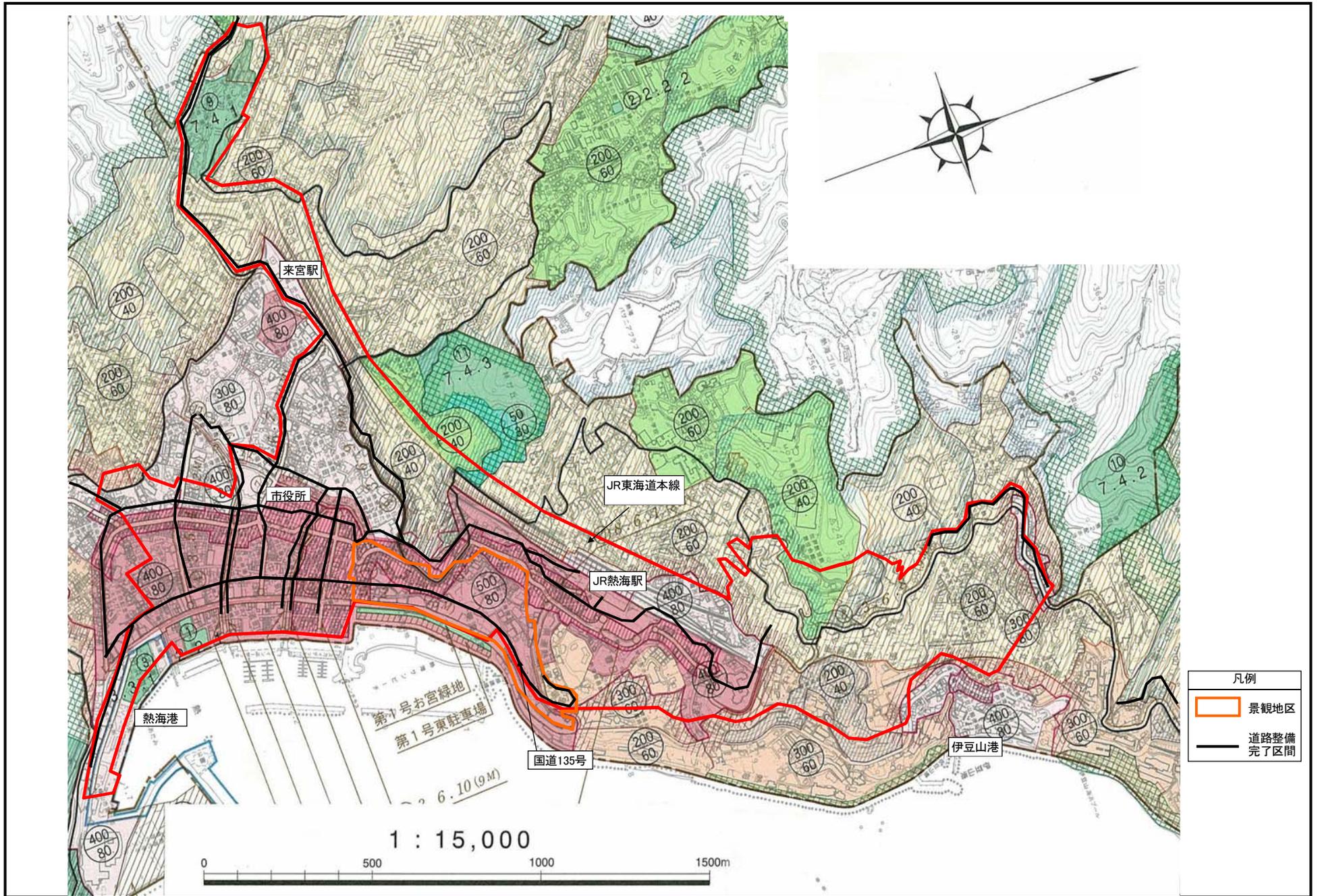
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		熱海駅伊豆山神社線	熱海市	直	L=295m	H21	H25	H21	H25	138.3	138.3	138.3	0.0	138.3
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(広場)														
地域生活基盤施設(駐車場)														
地域生活基盤施設(地域防災施設)														
高質空間形成施設(平板ブロック等)		糸川遊歩道	熱海市	直	—	H21	H23	H21	H23	92.9	92.9	92.9	0.0	92.9
高質空間形成施設(歩道上屋設置)														
高次都市施設(地域交流センター)														
高次都市施設(観光交流センター)														
高次都市施設(人工地盤等)														
既存建造物活用事業(地域生活基盤施設:広場)														
既存建造物活用事業(観光交流センター)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										231.2	231.2	231.2	0.0	231.2

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	花のまちづくり推進事業		(仮)花のまち歩き実行委員会	間		H21	H25	H21	H25	17.5	17.5	17.5	0	17.5
	事業活用調査	—	熱海市	直	—	H25	H25	H25	H25	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0
まちづくり活動推進事業														
合計										21.5	21.5	21.5	0.0	21.5

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
合計											0

合計(A+B) 252.7

熱海中央地区(静岡県熱海市)	面積 154 ha	区域 渚町、中央町、銀座町、咲見町、田原本町、春日町の全部、梅園町、福道町、和田浜南町、昭和町、水口町、上宿町、海光町、桃山町、伊豆山の一部
----------------	--------------	---



熱海中央地区(静岡県熱海市) 整備方針概要図

目標 国際観光温泉文化都市「熱海」としての魅力を一層高めるため、地区内に点在する拠点施設を結ぶ空間を统一的に整備することにより、「歩いてみたくなる都市空間」を創出し、街中における賑わいの再生を図る。	代表的な指標	景観・利便性満足度 (%)	23 (H20年度) → 41 (H25年度)
		糸川遊歩道等歩行者通行量 (人/3H)	383 (H20年度) → 437 (H25年度)
		湯～遊～バス乗降客数 (人/年)	41,362 (H19年度) → 44,000 (H25年度)

